



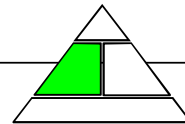
中期方針および中期目標の実現に向けた3カ年計画の初年度として、以下の取り組みにより着実な第1歩を踏み出す。

- 福岡の活力を高めるため、食・ファッションのブランド強化を通じた産業振興、クリエイティブ企業と地場企業の連携強化、インバウンドも見据えた商店街振興に取り組む。都市機能強化に向けては、多様な事業者の意見を提言につなげるしくみ作りに取り組む。
- 商工業者の持続・成長のため、事業者の支援・フォローの必要度に応じた計画的支援を通じ、事業計画の作成、販売力強化の支援などに取り組む。また、総合的な創業支援体制の強化に取り組むと同時に、女性が創業しやすい環境づくりにも取り組む。
- 会議所活動の基盤固めのため、部会活動の活性化に向けた取り組みや、行政との連携強化、九商連・福商連の活動強化に取り組む、活動の充実を通じた会員の拡大への取り組みも行っていく。

## 【中期方針(平成27年度～平成29年度)】



## I. アジアの拠点都市を目指し福岡の活力を高める



### (1) 福岡の強みを活かした、経済・産業振興

#### ①「食」を通じた関連産業の振興

- 九州一円の食でバイヤー・消費者にアピールする「FoodEXPO」、福岡県の食ブランド強化をめざす「食の都」、市域内の飲食事業者を発掘する「うまかもん市」を活動の柱として、BtoB、BtoC両面から、食ブランド強化を通じた産業振興への取り組みを継続して行う。
- 特に27年度は、優良バイヤーを確保して質の高い商談機会を提供していくとともに、本部間の連携を通じ、新規出展者の発掘と商品・サービスの改良や新商品開発に向けた支援の強化に取り組む。

【主要事業】 Food EXPO Kyushu、食の都ふくおか、博多うまかもん市 など

#### ②「ファッション」を通じた関連産業の振興

- FACoは、海外プロモーションの強化・拡大等により、ファッションの街のブランド強化につなげる。
- F.W.Fは、特区を活用した市民参加イベントの充実や、郊外型施設・個店の集積エリアを中心とした参加促進などに注力し、事業の拡大と参加事業者の売り上げ拡大に取り組む。

【主要事業】 福岡アジアコレクション(FACo)、ファッションウィーク福岡(F.W.F) など

#### ③「クリエイティブ関連企業」の集積を通じた産業振興

- 「クリエイティブ・ラボ・フクオカ」および福岡市と連携し、まず27年度は、情報の収集、およびクリエイターと地場企業経営者の交流の場を提供することから開始する。
- そのうえで、ビジネスマッチングに向けた個別商談会などの支援も企画する。

【主要事業】 クリエイティブと地場企業経営者との交流会 ★新規事業 など

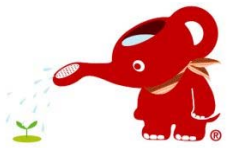
#### ④「おせったい」の推進による経済振興

- 商店街振興については、プレミアム付き地域商品券を前年倍増の40団体実施をめざすと同時に、市域全体を対象とした広域型の地域商品券についても発行及び実施団体募集を支援する。また、同商品券と食べ飲み歩きが連動したイベント等も企画・提案する。
- また、商店街でのインバウンド促進について、講習会や取組好事例の発掘と他への情報提供に取り組む。
- ラグビーワールドカップ(RWC)2019開催地決定を受け、受け入れや波及効果実現に向けた課題のサーチと、キャンプ地誘致に向けた取り組みを継続する。東京五輪のキャンプ地誘致に向けた活動も、今後のスケジュールを確認しながら進める。

【主要事業】 博多どんたく、食べ飲み歩き、プレミアム付き地域商品券発行支援 ★規模拡大 など

### (1) 福岡の強みを活かした、経済・産業振興

事業および施策	担当グループ	達成目標 (目標項目)	目標値(数値または到達水準)			(参考)	
			年間	第1四半期	第2四半期(累計)		第3四半期(累計)
<b>①「食」を通じた関連産業の振興</b>							
○Food EXPO Kyushu	地域経済振興G	【BtoBイベント】 ・出展ブース ・バイヤー参加 ・来場者 【BtoCイベント】 ・出店数 ・売上高 ・来場者	・150ブース (新規25) ・200人(海外40) ・4,500人	・企画概要作成 ・出展者募集 ・協賛企業募集	・企画決定	・事業実施	・143ブース ・122人(70人) ・4,300人
○食の都ふくおか2015	地域経済振興G	・出店数 ・来場者 ・売上高	・60ブース(新規10) ・3,500万 ・10万人	・事業実施			・62ブース ・3,310万 ・9.9万人
○博多うまかもん市	地域経済振興G	・出店企業 ・売上高 ・来場者数	・70社(新規10) ・4,500万円 ・5万人	開催時期の選定	中核店舗決定	メディア広報準備	・70社 ・4,000万円 ・3.5万人
<b>②「ファッション」を通じた関連産業の振興</b>							
○福岡アジアファッション産業振興事業	地域経済振興G	【FACo】 ・新規ブランド発掘 【FWF】 ・期間中の来店客数及び売上が前年より増加した店舗割合	・県内2ブランドの発掘 ・参加店舗の6割以上で増加	・企画案、募集要項作成 ・業務委託契約締結	・フォーラム実施 ・企画案の検討・修正	・合同商談会の実施 ・FACo審査会実施 ・広報媒体準備	【FACo】 ・新規2ブランド決定
<b>③「クリエイティブ関連企業」の集積を通じた産業振興</b>							
○クリエイティブ関連企業と他産業の連携推進	集客・産業振興G	交流会の開催	年2回	・福岡市、クリエイティブ・ラボ・フクオカとの連絡調整	事業実施	・福岡市、クリエイティブ・ラボ・フクオカとの連絡調整	—
<b>④「おせったい」の推進による経済振興</b>							
○政策提言・要望事業	企画広報G	RWC2019受入れ、波及効果実現に向けた課題明確化	・RWC2019に向けた課題の明確化		・視察ポイントの整理	・RWC2015(ロンドン)視察	RWC委員会設置・提言
○博多どんたく港まつり(福岡市民の祭り振興会事務局)	集客・産業振興G	・期間中人出 ・運営 ・収支	・200万人以上 ・円滑な運営 ・黒字および周年積立金確保	どんたく実施 ・200万人以上 ・円滑な運営	実施後の検証	仮決算の作成 ・黒字 ・周年積立金	収支目標達成
○食べ飲み歩き	商業・雇用支援G	・新規提案数 ・支援団体数 ・情報交換会	・15団体 ・10団体 ・1回	10団体 2団体	15団体 6団体	15団体 9団体	支援8団体
○商店街振興事業							
・プレミアム付き地域商品券発行支援事業	商業・雇用支援G	提案団体数 発行団体数	60団体 40団体	40団体 30団体	60団体 35団体	60団体 40団体	21団体発行済み
・インバウンドに関連する取り組み	商業・雇用支援G	講習会開催 店舗診断 取組好事例	・1回 ・3件 ・1件	・講習会1回	・店舗診断2件	・店舗診断3件	講習会1回 店舗診断3件
○伝統芸能の振興(博多をどりの開催)	集客・産業振興G	・収支 ・市民の認知度	・黒字継続および育成資金確保 ・一般市民への売上10%増	総会開催 育成スキーム検討	チケット販売 育成スキーム検討	をどりの実施 育成資金集め	黒字達成



## I. アジアの拠点都市を目指し福岡の活力を高める

### (2)アジアの拠点都市に相応しい都市機能整備

#### ①アジアから人々を集められる施設の整備・活用

#### ②空港、港湾の早期整備

- ・都市機能整備に向けた活動は、国や県、市への提言・要望を活動の中核とする。
- ・提言・要望にあたっては、アンケートの実施や部会からの意見収集、巡回訪問等の多様なチャネルから意見を集め、予算策定前など最も効果的なタイミングを見計らった提言・要望の実施に努める。
- ・また提言・要望の実施状況と実現状況をわかりやすくまとめ、事業者へ積極的に発信する。
- ・「未来構想委員会」による、長期的・広域的視点からのインフラ整備・街づくりへの調査研究を開始する。

【主要事業・施策】 市政提言、要望活動、記者会見・会報誌・webなどでの情報発信 など

#### ③将来を見据えた交通網の整備

#### ④「おせったい」の街づくり

### (2)アジアの拠点都市に相応しい都市機能整備

事業および施策	担当グループ	達成目標 (目標項目)	目標値 (数値または到達水準)			(参考) H26 見込み	
			年間	第1四半期	第2四半期(累計)		第3四半期(累計)
①アジアから人々を集められる施設の整備、活用 ○政策提言・要望事業	企画広報G	・複数チャネルによる意見集約 ・要望・意見表明 ・提言後フォロー	・アンケート・部会等による意見集約 ・市政提言提出 ・実現状況の発信	・提言事項の実現状況確認 ・アンケート実施・課題整理、部会等への意見照会	市等への提言提出・周知	・課題に関する普及啓発 ・市からの方針回答	市政提言実施
②空港、港湾の早期整備 ○政策提言・要望事業	企画広報G	・要望・意見表明 ・提言後フォロー	・市政提言提出 ・実現状況の発信	・提言事項の実現状況確認 ・課題整理	市等への提言提出・周知	・市からの方針回答	提言実施、予算化実現
③将来を見据えた交通網の整備 ○政策提言・要望事業	企画広報G	活動運営	委員会開催 課題整理	・正副委員長と活動計画決定	・委員会開催	・委員会開催	—
④「おせったい」の街づくり ○政策提言・要望事業	企画広報G	・要望・意見表明 ・提言後フォロー	・市政提言提出 ・実現状況の発信	・提言事項の実現状況確認 ・アンケート実施、課題整理	市等への提言提出・周知	・市からの方針回答	市政提言実施

## II. 地域を支える商工業者の持続・成長に向けた取り組み

### (1)事業者の持続・成長のための支援

#### ①チャレンジする商工業者への質の高い支援の実施

- ・小規模事業者を中心に、支援やフォローの必要度に応じた計画的な巡回訪問、窓口での相談案件をもとに、個別の経営相談や経営改善計画の作成へつなげるしくみづくりを行い、支援力の強化を図る。
- ・また、専門家との連携による経営力向上支援への取り組みと同時に、消費税引き上げ後の中小企業者の継続的な実態把握と、円滑な価格転嫁に向けた相談窓口、講習会などの支援を行う

【主要事業・施策】 巡回・相談窓口・専門家派遣 ★取組強化、講習会、消費税価格転嫁相談 など

#### ②販売力・営業力強化に向けた支援の充実

- ・食や観光を主たる切り口として、県や九州内の連携をはかり、事業者の取引先拡大を支援する。
- ・国内商談会では、首都圏向けBtoCを得意とする福岡県商工会連合会との連携を進め、会員事業所への新たな商談機会の提供に取り組む。
- ・商談に関する事前対策セミナーや事後フォローも強化し、成約の向上を目指す。

【主要事業・施策】 各種商談会、プレゼンチェックセミナー など

#### ③多様な人材確保支援への取り組み

- ・新卒者採用支援、人材育成計画の策定支援、生命共済等福利厚生支援の3つの取り組みを行う。
- ・特に新卒採用は、就職活動の解禁日が変更となり、就職活動期間が短縮されることに合わせ、中小企業にとって最適なタイミングでの支援活動を行う。
- ・企業の採用担当者と学校の就職担当者との情報交換の場を設け、地場企業の人材確保を支援する。

【主要事業】 企業と学校との情報交換会、会社合同説明会、生命共済 など

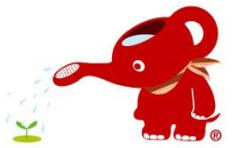
#### ④人材育成支援の強化

- ・商談会後のフォローや事前対策講座による、販売力・営業力強化支援、検定・実務研修による事業者の従業員育成支援を中心とした取り組みを行う。

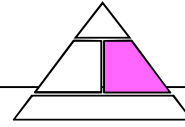
【主要事業】 各種検定試験、実務研修講座、パソコンスクール など

### (1)事業者の持続・成長のための支援

事業および施策	担当グループ	達成目標 (目標項目)	目標値 (数値または到達水準)			(参考) H26 見込み	
			年間	第1四半期	第2四半期(累計)		第3四半期(累計)
①チャレンジする商工業者への質の高い支援の実施 ○経営改善支援事業 ・訪問による経営指導 ・窓口による経営指導 ・経営力向上支援 ○消費税価格転嫁相談	地域支援部 経営支援G 地域支援G 経営支援G 地域支援G 経営支援G	巡回軒数 マル経融資推薦 経営革新計画承認件数 事業計画策定支援 経営改善提案 講習会開催件数 巡回窓口等件数	8000軒 100件 60件 150件 100件 10回 8500件	2000軒 25件 15件 40件 25件 1回 2,200件	4000軒 50件 30件 80件 50件 4回 4,400件	6000軒 75件 45件 120件 75件 7回 7,000件	約9,300軒 87件 【承認企業数】 12社 180件 37件 講習会10回 巡回窓口等 8,500件
②販売力・営業力強化に向けた支援の充実 ○商談関連セミナー事業 ・商談上手になるためのプレゼンチェックセミナー ○商談会事業 ・中小企業販売力強化支援事業 ・観光商談会(JATA旅博、観光マッチング) ・地域食品企業商談会開催及び見本市 出展事業	集客・産業振興G 集客・産業振興G 集客・産業振興G 集客・産業振興G	参加者数 支援企業数 商談件数 成約件数 商談数 成約数	320名以上 12社 ・300件 ・55件 ・1,000件以上 ・150件以上 ※前年実績以上	— — 前年度の検証 ツーリス'16EXPO出展 企業募集 ・100件 ・15件	160名 — ツーリス'16EXPO出展 バイヤー選考 ・200件 ・30件	160名 — 観光マッチング募 おもてなしランチ商 談会企画 ・800件 ・120件	計325名 — 商談282件 成約は未定 ・商談1061(国 内591国外 470) ・成約176(国 内76国外100)
③多様な人材確保支援への取り組み ○人材確保支援事業 ・次世代を担う人材力向上支援事業 ・会社合同説明会 ○生命共済等	商業・雇用支援G 商業・雇用支援G 会員組織・共済G	セミナー参加企業数 就職情報交換会 参加企業数 人材育成計画策定 支援数 参加企業数 求職者動員数 新規入会件数 27年度末会員 年間収入	120名 100社 5社 200社 2500人 ・1,500人 ・10,500人 ・53,042千円	30名 — 3社 1回目開催 100社 1,700人 新規入会: 375人	60名 50社 4社 100社 1,700人 新規入会: 750人	90名 100社 5社 200社 2,500人 新規入会: 1,125人	123社 100社 5社 229社 2,365人 約10,250人
④人材育成支援の強化 ○ビジネス実務能力検定 ・簿記検定 ・販売士検定 ○各種実務講座、スクール 福商実務研修講座	検定・企業研修G 検定・企業研修G 検定・企業研修G	受験者数 受験者数 年間収入 受講者数	13,200名 1,430名 21,613千円 1,452名	4,050名 — 8,505千円 601名	4,050名 630名 15,461千円 1,038名	9,080名 630名 20,903千円 1,406名	13,053名 1,388名 19,962千円 1,285名



## II. 地域を支える商工業者の持続・成長に向けた取り組み



### (2) 創業支援(事業承継、第2創業含む)

#### ① 創業希望者の掘り起こしと具体的支援の強化

- ・ 創業希望者の掘り起こしについては、理美容、飲食系専門学校を中心とするなど、ターゲットを明確にした若者への興味喚起に取り組み、創業への動機づけ・すそ野の拡大をはかる。
- ・ 創業に向けた具体的支援においては、起業塾の充実、受講後のフォロー、必要に応じた専門相談や保証協会の診断など、創業の成功に向けた総合的な支援体制を強化する。
- ・ 同時に、先駆者との情報交換を通じたファンド、資金調達等に関するノウハウの蓄積にも取り組む。

【主要事業】 起業マインド醸成セミナー、起業塾 など

#### ② 女性が創業しやすい環境づくり

- ・ 女性の創業希望者への支援を強化するため、先行する女性起業家団体とも連携しながら、女性ならではの特性を活かした創業支援を行う。
- ・ 女性起業家団体との連携を通じ、女性の起業における課題の抽出や、起業の実現に向けたノウハウの蓄積にも取り組む。

【主要事業】 女性創業塾 など

### (2) 創業支援(事業承継含む)

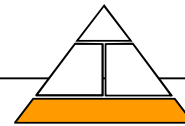
事業および施策	担当グループ	達成目標 (目標項目)	目標値 (数値または到達水準)				(参考) H26 見込み
			年間	第1四半期	第2四半期(累計)	第3四半期(累計)	
<b>① 創業希望者の掘り起こしと具体的支援の強化</b>							
○ 創業支援事業 ・ 学生及び創業希望者向け起業マインド醸成セミナー ・ 福岡起業塾	経営支援G	参加者数	150名	50名	100名	150名	180名
	経営支援G	・ 支援件数 ・ 創業件数	・ 40件 ・ 42件(H26受講者) ・ 受講後1年以内28件(H27受講者)	-	・ 20件 ・ 20件	・ 40件 ・ 28件	60件 24件
<b>② 女性が創業しやすい環境づくり</b>							
○ 女性創業塾	経営支援G	・ 支援件数 ・ 創業件数	・ 15人 ・ 受講後1年以内8件(H27受講者)	-	支援: 15人	支援: 15人	-
<b>③ 外部との連携推進</b>							
○ 創業支援ネットワークFUKUOKA事業	経営支援G	創業支援ネットワークの目標達成	支援件数: 10件 創業件数: 10件	支援: 2件	支援: 5件	支援: 8件	支援: 9件 創業: 9件

#### ③ 外部との連携推進

- ・ 福岡市やその他起業支援機関と連携による創業支援の方法を確立させる。
- ・ 福岡市との共同により創業塾を運営する。

【主要事業】 創業支援ネットワークFUKUOKA事業、スタートアップFUKUOKA など

## III. 信頼される福岡商工会議所(基盤の強化)



### ① 活発な会員活動の推進

- ・ 会議所事業の充実・強化と会員満足度の向上を通じた、新規会員の入会拡大に取り組む。
- ・ 会員が会議所活動に参加しやすい土壌をつくるため、会員事業所同士が気軽に交流・懇親できる機会の充実に取り組む。
- ・ 同時に、福岡商工会議所の部会活動活性化に向け、プロジェクトチームを通じた部会再編の検討を進める。

【主要事業・施策】 会員増強活動、会員交流会、部会再編への取り組み ★新規事業 など

### ② 外部との連携強化

- ・ 会議所事業の効果を高めるために、福岡県商工部と福商連、福岡市と当所との意見交換会を開催し、政策・事業の目的・成果の共有、連携強化を図る。
- ・ 商工会議所の意見を国・行政の施策・予算に反映させるために、九商連事務局機能の強化をはかり、各地商工会議所との連携による地域・中小企業の実態把握・情報発信に取り組む。
- ・ また、食や観光を切り口とした販路拡大に取り組む事業者の発掘を九商連、福商連と連携して行うと同時に、観光や景況調査に焦点を当てた九商連、福商連としての取り組みを強化する。

【主要事業】 国・県・市等への要望、意見交換会、記者会見・政党懇談会での意見表明 など

### ③ 事務局機能の強化と活動量の向上

- ・ 職員の知識要件・処遇を整理し、目標管理を通じた業務進捗管理と育成を徹底する。

【主要施策】 人事制度見直、研修 など

事業および施策	担当グループ	達成目標 (目標項目)	目標値 (数値または到達水準)				(参考) H26 見込み
			年間	第1四半期	第2四半期(累計)	第3四半期(累計)	
<b>① 活発な会員活動の推進</b>							
○ 会員拡大活動の強化 ・ 会員増強活動	会員組織・共済G	・ 年度末会員数	15,490件				H26年度末会員数: 約15,440件
		・ 新規入会数 ・ 退会受付数 ・ 前受件数	950件 727件 150件	新規: 570件 退会: 220件	新規: 855件 退会: 330件	新規: 950件 退会: 510件	
○ 会員交流事業の強化 ・ 新入会員交流会	会員組織・共済G	・ 参加会社数	200社		100社	200社	99社
		・ 参加人数	200人	-	100人	200人	119人
・ 会員交流会	会員組織・共済G	・ 参加会社数	350社		350社		332社
		・ 参加人数	500人		500名		457名
<b>② 外部との連携強化</b>							
○ 国、県、市との緊密な連携、情報共有の強化 ・ 県・市と事業の目的・成果を確認する協議体制の確立	企画広報G	意見交換の実施	・ 市幹部: 2回 ・ 県: 1回	・ 県: 1回目	・ 市幹部: 1回目	・ 市幹部: 2回目	・ 県: 0回 ・ 市幹部: 2回
○ 九商連、福商連事務局機能の強化 (商連活動の活性化)	企画広報G	九州の景況動向の発信・定着化	・ 九商連としての報道: 3回	・ 発信内容・方法の協議	・ 地域・景況動向の発信・報道掲出(1回)	・ 地域・景況動向の発信・報道掲出(2回)	・ 定期開催化 ・ 課題明確化 ・ 要望実施
<b>③ 事務局機能の強化と活動量の向上</b>							
○ 成果に基づく人事制度への見直し	総務・人事G	見直した制度の適用	処遇制度の見直し、施行	処遇制度の見直し、施行	研修や全体会議の場等、全従業員に対する説明の機会を設ける。	四半期進捗等を利用し、制度運用上の不安・不満を聴取する。	資格・評価制度の見直し、運営
○ 人材の育成	総務・人事G	人材方針と能力要件の浸透	・ 資格等級ごとの研修の実施	・ 管理職研修の実施	・ 職員研修の実施	・ 管理職研修の実施	管理職研修3回、職員研修2回の実施
<b>④ 財政基盤の強化</b>							
○ 財政基盤の強化 ・ 会館事業	総務・人事G	貸事務所収入 貸会議室収入 駐車設備収入	179,511千円 106,600千円 30,155千円	44,877千円 26,650千円 7,538千円	89,754千円 53,300千円 15,076千円	134,631千円 79,950千円 22,614千円	183,061千円 105,339千円 29,233千円

#### ④ 財政基盤の強化

- ・ 財政基盤の強化に向けて、一層の経費支出の削減と、収入の確保を通じた収支改善に取り組む。
- ・ 中期目標に掲げた収支目標の達成をはかる。

【主要事業・施策】 貸事務所・貸会議室、予算管理の徹底 など